

第1章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー

1. ミネベアミツミの歩み

オーガニック (超精密機械加工技術) × M&Aで成長

創業1951年7月

東京都板橋区小豆沢において、わが国初のミニチュアベアリング専門メーカー「日本ミニチュアベアリング株式会社」を設立。

会社紹介はこちらから
ご覧いただけます。



1972年
シンガポールに
初の海外自社工場を建設



チャイチャー工場（シンガポール）

1984年
タイで2番目の拠点
となるバンバイン工場を設立

1980年
アユタヤ工場を設立
グループ最大拠点となる
タイに初進出



アユタヤ工場（タイ）

1986年
浜松工場を設立
電子機器分野の開発を拡大



FDD・MOD

25

1988年
英国のロッドエンド
ベアリングメーカーを買収
欧州市場への供給を拡大

1980年
小径サイズの
ボールベアリングの
生産を開始



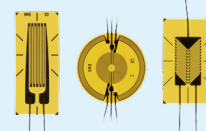
小径ボールベアリング

1985年
米国のベアリングメーカーを買収
米国市場への供給を拡大



航空機部品

1974年
電子機器分野
(計測機器・現 センシング
デバイス事業部)に進出



ひずみゲージ

1971年
米国で当社初の
海外生産を開始

M&A件数



1988年
タイ ロップリ工場を設立
電子機器分野の生産を拡大



ロップリ工場（タイ）

1994年
ベアリングやファンモーターを
部品から一貫生産する
上海ミネベア（中国で初の
自社工場）を設立

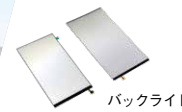


上海工場（中国）

2010年
蘇州工場を設立し、
LEDバックライトの生産を拡大



蘇州工場（中国）



バックライト

2010年
カンボジアで工場を設立し、
翌年に生産を開始
リスク分散、生産の拡大と
コスト低減



レザントデバイス

2018年
スロバキア コシツェ工場にて生産を開始
欧州市場への供給を拡大



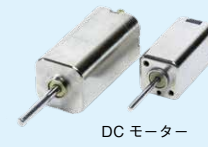
グリルシャッター
アクチュエーター

30

2009年
マイクロアクチュエーターの
生産を開始
モーターの
生産拠点を増設
マイクロアクチュエーター



2010年
ブラシレスモーターの
生産を開始
モーターの
製品ラインナップを拡大



DC モーター

2015年
ドイツの大手計測機器メーカーを買収
欧州やインドでの
生産と供給を拡大

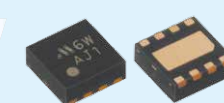


センシングデバイス

2017年
ミツミ電機（株）と株式交換により経営統合を実施
機械・電子技術と制御技術を融合した
「エレクトロ メカニクス ソリューションズ®」
プロバイダーとして、各事業の成長を加速



ミツミ電機（株）本社



1直リチウムイオン電池用保護IC

2019年
株式公開買付けにより（株）ユーシンと経営統合を実施
新たな「相合」力により、自動車・住宅設備・
産業機械分野でのシナジー創出



（株）ユーシン 広島工場



ヒーターコントロール

2020年
秋田事業所に新社屋が完成
車載事業の開発を強化



ミツミ電機（株）秋田事業所

2019年
ドイツの精密成形部品メーカーを買収
欧州やアジアでの
スピーディーな生産を拡大



Mast Kunststoffe GmbH & Co.KG

2020年
エイブリック（株）の株式取得により
経営統合を実施
アナログ半導体市場における
プレゼンスを強化



エイブリック（株）高塚事業所

40

2020/8 時点
累計 50 件！
今後も積極的に
M&A を活用して
成長を目指す

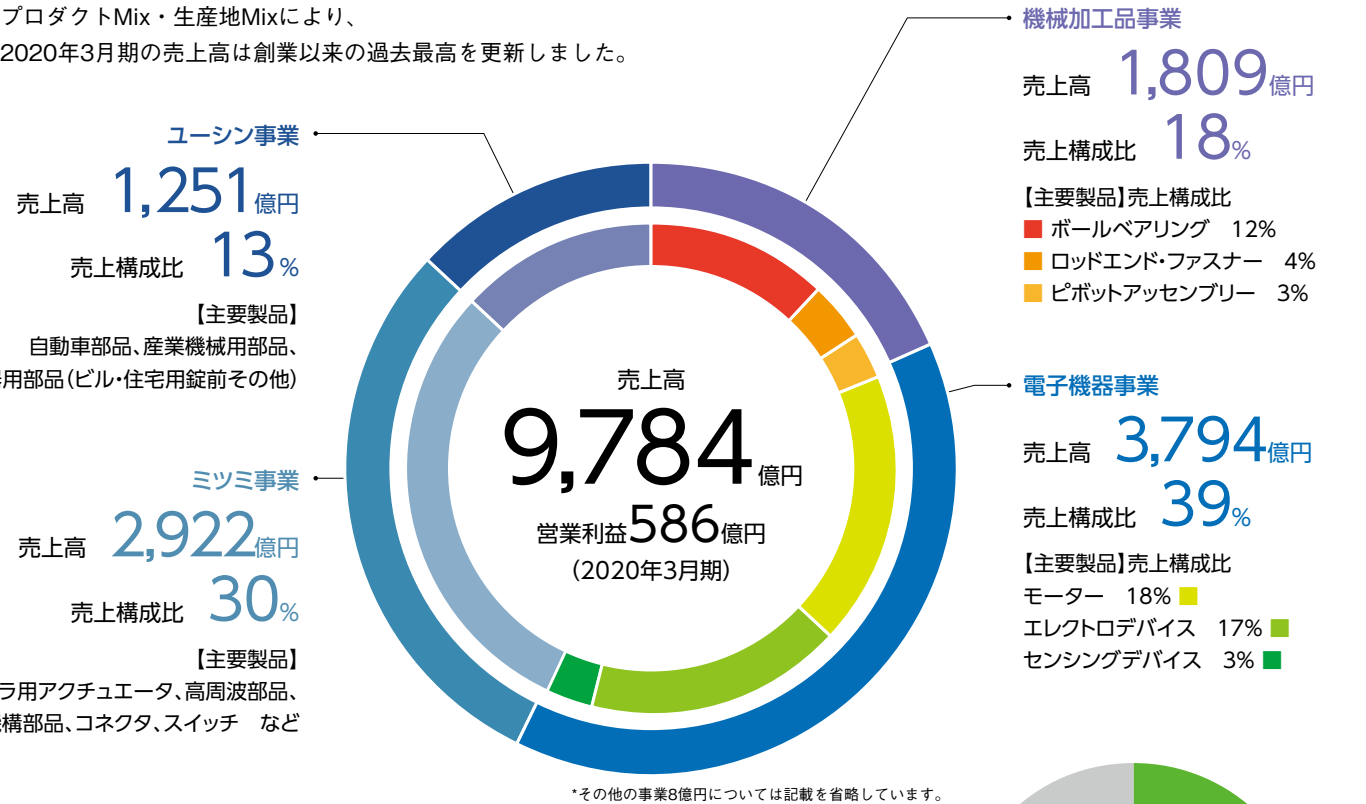
50

2. ミネベアミツミの今

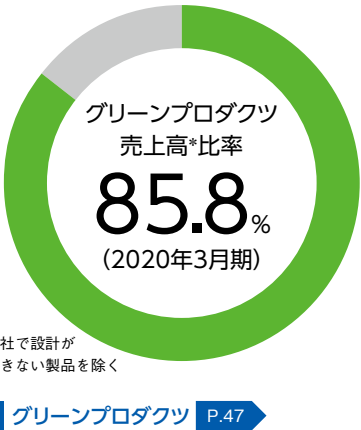
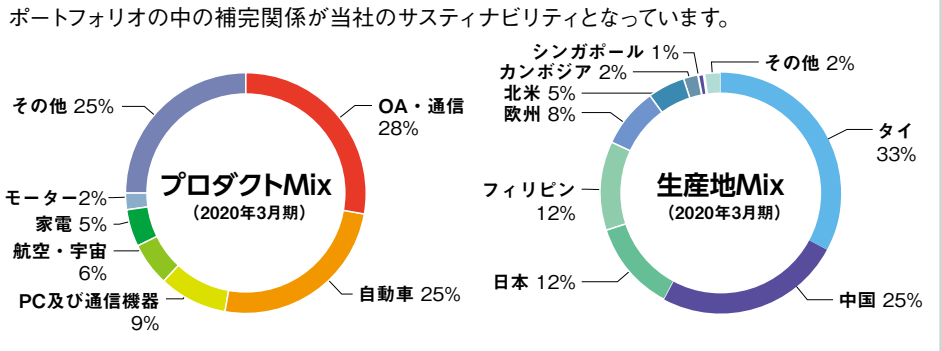
多様なポートフォリオを持つことにより、
オンリーワンの「^{そうごう}相合」精密部品メーカーへ

ミネベアミツミは、自動車、航空機からスマートフォン、医療機器やインフラをも含む効果的な製品ミックスと、日・米・欧・アジアに広がるグローバルな生産拠点展開による相互補完体制により、優れたリスク分散体制を備えるとともに、「相合」によるシナジーも追求。逆境においても安定した収益を確保しつつ、さらなる成長を続けていくことができます。

事業別売上高



プロダクトMix・生産地Mix



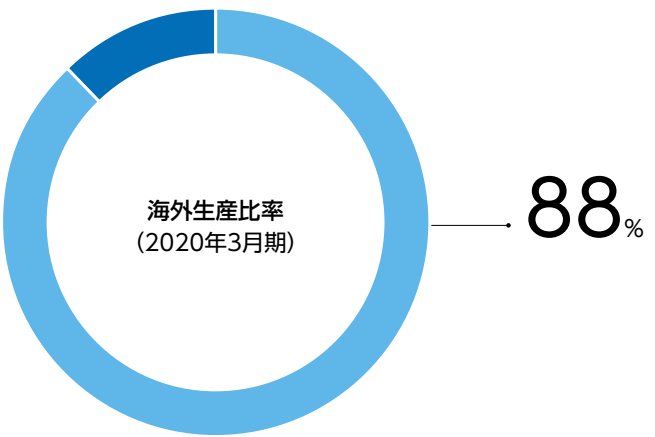
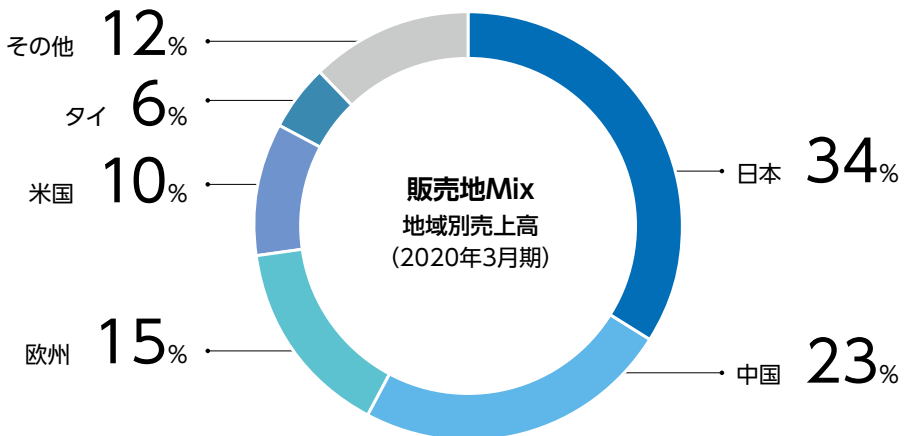
世界市場で高品質製品を創出

生産・販売のグローバル体制を構築し、地産地消に対応するとともに、為替、災害、地政学的なリスクを低減しています。

27 力国

93 生産・開発拠点

91 営業拠点
(2020年8月1日現在)

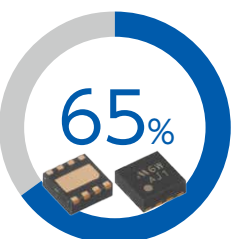
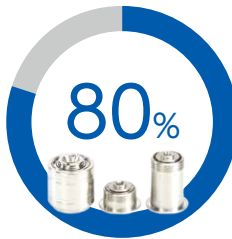
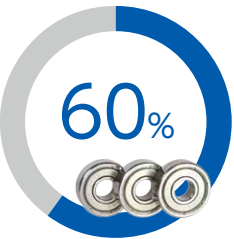


世界シェアNo.1

ミニチュア・小径
ボールベアリング

HDD (ハードディスクドライブ) 用
ピボットアセンブリー

1直リチウムイオン電池用
保護IC



世界最小

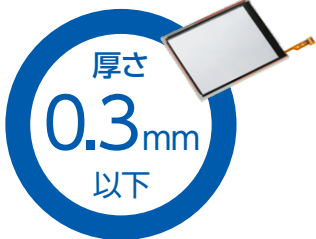
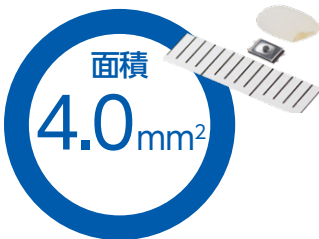
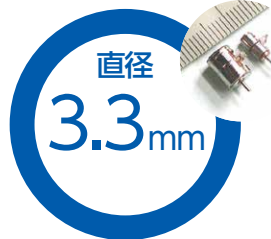
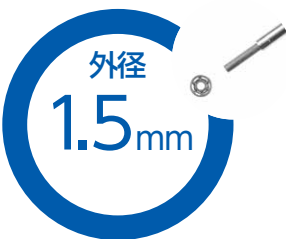
ミニチュア
ボールベアリング

世界最小クラス
ステッピングモーター

世界最小クラス
タクトスイッチ

世界最薄

液晶用
LEDバックライト用
導光板



3.ミネベアミツミの価値創造モデル

3つの強みと非財務資本で持続的に成長



ミネベアミツミの強みは、「コア事業の強化」「ニッチ分野で多角化経営」「相合*してシナジーを創出」の3つです。これら3つの強みがかけ合わされ、シナジーが生まれることにより、環境・社会的な価値と同時に経済的な価値が創出され、財務・非財務の資本が積み重ねられてまいりました。それらを活用して、3つの強みがさらに磨かれていくことにより、持続的な成長を実現してまいります。

*相合:「総合」ではなく、「相い合わせる」ことを意味し、自社保有技術を融合、活用して「8本槍」を進化させるとともに、その進化した製品をさらに相合することでさまざまな分野で新たな製品を創出すること。

ミネベアミツミグループの
持続的成長

創出する経済価値

- 高品質による環境貢献型製品
- 相対的な低価格と、高度な製品信頼性による社会資本の効率的な利用
- 多数のNo.1製品
- 高い営業利益率
- 高収益力に裏打ちされたキャッシュ創出力
- 株主資本利益率(ROE)
- 投下資本利益率(ROIC)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 持続可能な都市を築こう

創出する環境・社会的価値

- 大量生産と環境負荷低減の両立
- 環境貢献型製品の創出
- IoTを活用したスマートインダストリーへの貢献
- 新興国の農業従事者を先端技術領域に参画
- グローバルでの女性活躍

1 貧困をなくそう

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等をすすめる

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

10 人や国の不平等をなくそう

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

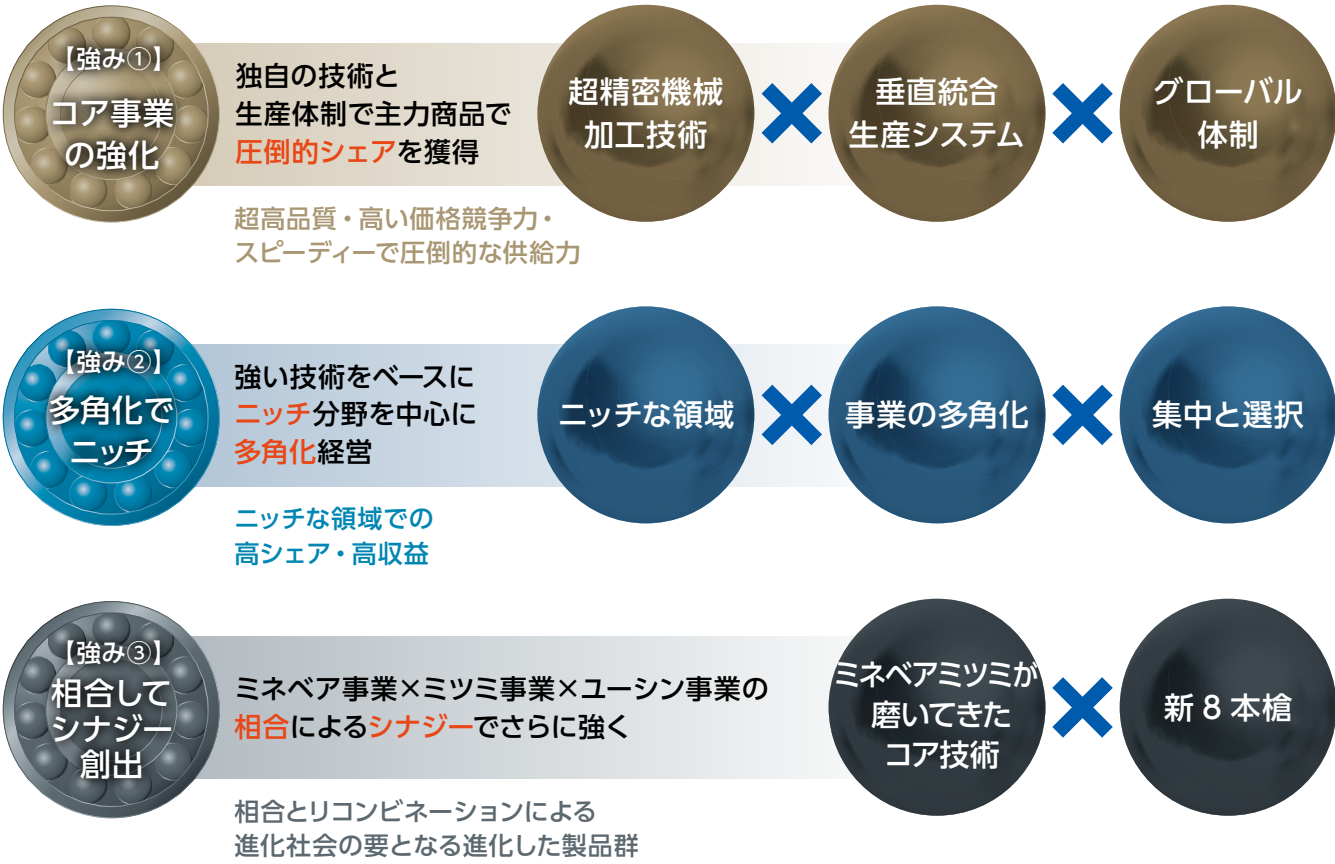
ミネベアミツミは摩擦を低減してエネルギー効率を向上させるボールベアリングをはじめとする環境貢献型製品を供給することなどを通して環境価値を、新興国における農業従事者を啓発し最先端のテクノロジーへの参画を促すことなどを通して社会的価値を創出しています。このように、社会的課題の解決と経済価値の創出が調和した事業活動を実現しています。また、これらの活動を通して、国連が提唱しているSDGsの実現も目指しています。

4.ミネベアミツミの強み

10のコア技術を核に、^{そうごう}「相合」による
シナジー創出と、コア・サブコア戦略により、
有機的な成長を続けていく

超精密機械加工技術、大量生産技術をはじめとするミネベアミツミが磨いてきた10の**コア技術**を融合・活用することで、**8本槍製品**のそれぞれを進化させるだけでなく、その進化した製品を**相合**、**リコンビネーション**し、新たな事業機会を創出します。さらに、コア事業である8本槍に加え、コア技術を活用した「サブコア事業」も展開。サブコア事業では、技術をさらに高めるとともに、キャッシュカウとして収益を最大化。創出した利益はコア事業のさらなる強化と成長に投資していきます。

常識を超える「違い」を生み出す3つの強み



10のコア技術

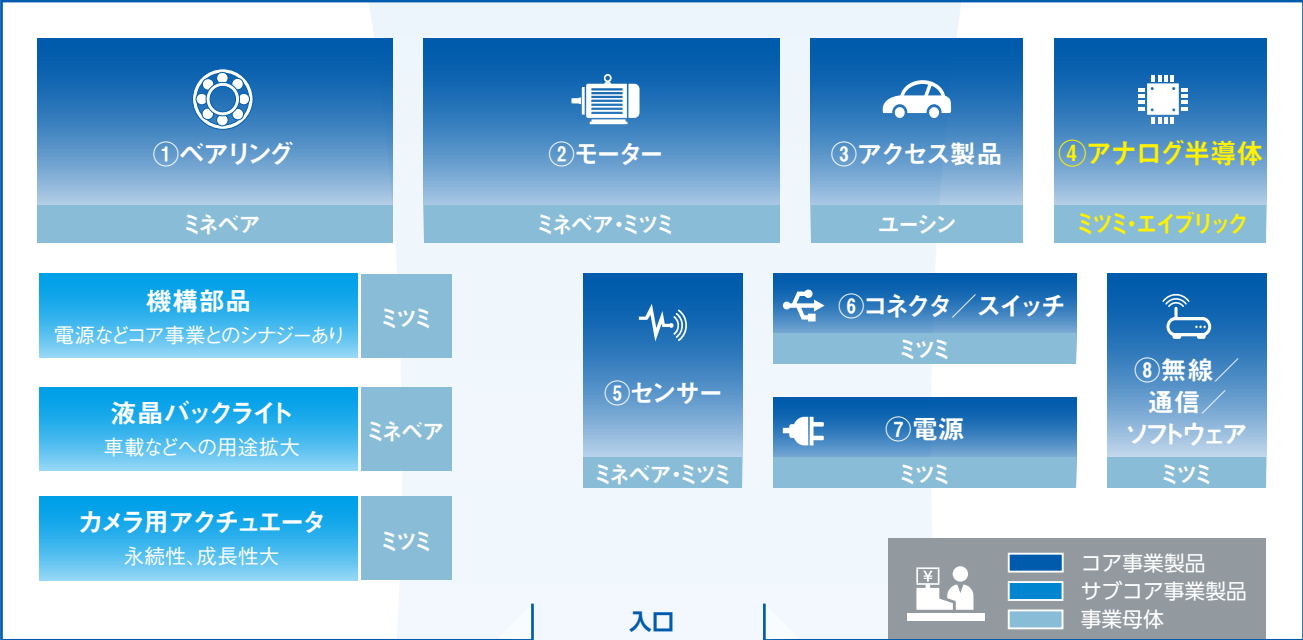
超精密機械加工技術	大量生産技術	センサー技術 (荷重・圧力など)	光学技術	MEMS技術	高周波技術	電気回路技術	半導体設計技術	機構設計技術	システム設計技術
-----------	--------	---------------------	------	--------	-------	--------	---------	--------	----------

コア事業（8本槍）

コア事業の定義
①巨大な市場において、ニッチ領域である
②超高品質、超精密加工技術が活用できる
③**技術革新があっても容易には置き換わらない**
エイブリック統合により
アナログ半導体は成長の土台が完成。
8本槍の8番目から4番目に番付が変更となりました。

サブコア事業

サブコア事業の定義
①巨大な市場において、ニッチ領域である（コア事業と同じ）
②超高品質、超精密加工技術が活用できる（コア事業と同じ）
③**技術革新によって置き換わる可能性がある**
サブコア事業では、将来に置き換わる可能性を考慮し、固定費の最小化や投資の加速償却などを行うことにより、リスクを最小化しています。



（上記の表は、SPA のフロア図をイメージして記載してあります。
※SPA とは、Specialty store retailer of private label apparel = 企画から製造、販売までを垂直統合させ、関連するアパレルを販売するビジネスモデル）

相合してシナジーを創出

相合してシナジーを創出している例

超高効率のボールベアリング、制御 IC、センサーを使用した精密小型モーター	交換時期を判別するベアリング＋センサー	フィルム型高感度ひずみゲージ「ミネージュ®」＋精密ロボティクス用 ADC	コネクタ / スイッチ＋電源を使用したカーエレクトロニクスやモバイルデバイス
---------------------------------------	---------------------	--------------------------------------	--

多様な事業に価値創出



5. 持続的成長に向けて

経営基盤とリスク管理を盤石にし、
いかなる環境下でも事業を継続

当社は、積み重ねられた製造・人的・知的資本を支えとし、コア事業の強化、事業の多角化やグローバル生産を進め、リスクにぶれることのない強靱な経営基盤の確立に取り組んできました。そして、これらを「相合」することで、新たな価値を創造してまいりました。今後も、経営理念をもとに、E・S・Gの側面からマテリアリティ（重要課題）を中心とした社会課題の解決に邁進し、売上高2.5兆円・営業利益2,500億円を長期的な定量目標に掲げ、世界のお客様に役立つ価値を提供し、持続的な成長を目指します。

メガトレンド
環境・社会の課題
(事業機会)

環境(E)

- 地球温暖化
- 生物多様性
- エネルギー危機
- 資源の枯渇
- 自然災害

社会(S)

- 情報セキュリティの強化
- AI、IoT社会の進展
- 世界人口の増加
- 食糧危機
- 先進国の少子高齢化
- 格差拡大
- パンデミック(感染拡大)

マテリアリティ（重要課題）

すべての従業員が力を最大限発揮できる職場づくり

- 1 従業員の安全と健康 S
- 2 働きやすい職場づくり S
- 3 グローバル規模の人材育成 S
- 4 グローバル規模のダイバーシティの推進 S

社会の発展に貢献する新しい価値の創造

- 5 環境貢献型製品の創出 E
- 6 地域社会との対話と発展への貢献 S
- 7 社会課題を解決するソリューション創出 S

社会を支える精密部品の安定供給

- 8 安全・安心な製品の供給 S
- 9 責任ある調達の推進 S
- 10 リスクマネジメントの強化 G

マテリアリティ P.46

経営基盤・リスク管理

経営理念の浸透

グループガバナンス

サクセッションプラン 等

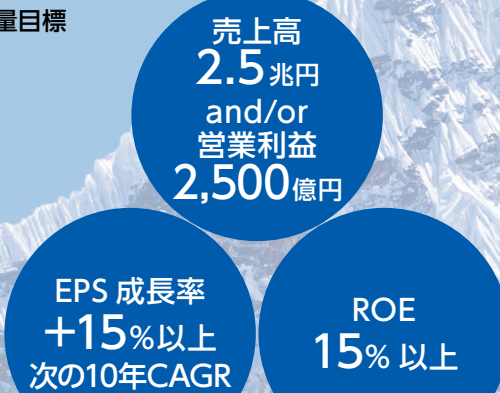
事業等のリスク P.61-62

価値創造モデル



2029年3月期に目指す姿

定量目標



非財務目標



事業構成

コア事業にシフトし、
業績ボラティリティ低減と
リスクマネジメント向上を両立

